

民主

PRESS MINSHU

号外

2003.4.15

定価 100円 (消費税込み)
年間購読料 3000円 (送料含む)
民主党広報委員会
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
渋谷区版

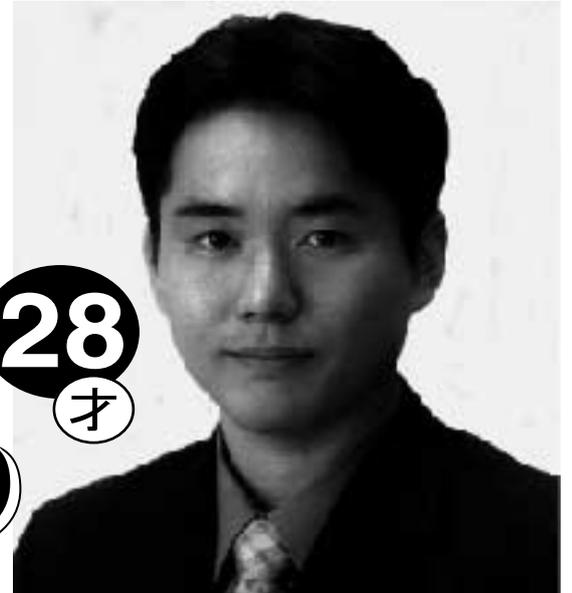
民主党渋谷区支部政調副会長

鈴木 けんぼう

特集号

28

才



民主党は、生活に密着した政策を長期的に実現していくために20代の青年を政策担当者として各地で起用している。今回は、渋谷区支部の政調副会長である「鈴木けんぼう」を紹介する。

「鈴木けんぼう」は渋谷区富ヶ谷生まれの28歳、塾講師時代に感じた社会への疑問を胸に、政治を志す。民主党の青年政治学校「リーダーズスクール」創設に尽力するなど、新しい政治作りに力を注いできた(プロフィール)。

現在は民主党渋谷区支部の政調副会長として地域の政策立案に全力を尽くしている(政策)。

「まず徹底した情報公開、住民参加による街づくりという2つのしくみづくりに取り組みます。次に、こどもを基準に安全・安心な街づくりを進めます。最終的には渋谷区を住みやすい街・住み続けられる街にしていきたい」と語っている。

<http://www.s-kenpo.jp/>

▶▶ 鈴木けんぼう プロフィール

1974年9月4日、富ヶ谷生まれ(28才)

山手通りに面したマンションで、騒音とともに育つ。区立大向小学校卒業。小中高時代は読書に熱中。好奇心の強い生徒であった。部活はバスケットボール部。

東京大学経済学部卒業。在学中からフリーの塾講師・家庭教師として受験指導にとどまらない教育を実現。その際感じた、こどもが夢を見られない世の中への反発が、いまでも活動の原点。

2000年の衆議院議員選挙にボランティアとして関わったのをきっかけに政治を志す。衆議院議員秘書、民主党渋谷区支部の政調副会長など、地域の改革に尽力。

民主党本部青年局主催の青年政治学校を企画運営面でサポート。また、青年ボランティア組織「クラブデモクラッツ」の全国幹事・東日本副代表として千人を超えるメンバーとともに活動中。

▶▶ 政策

基本政策：「こどもの笑顔あふれる渋谷づくり」

情報公開と住民参加のしくみを徹底します！

1) こどもやお年寄りに優しい街にする！

段差の解消をはじめとするバリアフリーの徹底、放置バイク・自転車対策、歩きたばこ対策、防犯など安全な街づくりを推進します。

2) こどもが健やかに育つ街にする！

「地域ぐるみ教育」の促進、延長保育など子育て支援の拡充、教育プログラムの充実など、未来を担うこども達に対して最高の環境を整備します。

3) 大人もこどもものびのび生活できる街にする！

情報公開と住民参加制度の革新、区の窓口・施設利用時間延長などニーズに沿った行政サービスの拡充、福祉選択肢の拡大、雇用支援策や中小企業支援策の強化など、生活の不安を取り除きます。

検討中政策：「未来の渋谷づくり」

1) 身近な申請を簡単・確実にする

住基ネットや「なりすまし」などで露呈した情報管理の安全性を高める(窓口での本人確認や個人情報保護の徹底などを条例化)

身近な公共施設(図書館など)で通勤・通学時に各種申請ができる体制づくり

2) 街づくりの複眼化

分煙(吸う人も吸わない人も納得できる街)

NPO法人など民間との協力拡大

3) 都市政策の転換・渋滞解消

TDM(交通需要マネジメント)の促進(パーク&ライド：中心市街地での公共交通機関への乗換、他)

違法駐車・違法駐輪の解消を目的とした駐車・駐輪場の整備。渋滞につながる放置バイクの解消
巻き込み・引っ掛け事故を防ぐ自転車用レーンの設置

他、時代の変化に伴う政策・制度を検討